

令和4年度 学校自己評価システムシート 日高市立武蔵台中学校

目指す学校像	知・徳・体の調和のとれた人づくりを推進する学校
重点目標	義務教育学校開校へ向けての準備

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標			年度評価 (2月15日現在)				
評価項目	具体的方策	評価指標	A+Bの割合		達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
			職員	保護者			
組織運営の充実 (小中一貫の視点)	目指す15歳像の具現化	1 学校は、目指す15歳像「たくましく未来を切り拓き、一步上を目指すつ子」の育成に努め、生徒一人一人の可能性を引き出す教育活動(授業、学校行事、部活動等)を進めている。	100.0%	89.4%	・授業において、教師が一人一人丁寧に声をかけていた。また、話し合いを積極的に取り入れ、子供たちはそれに慣れている。グループやペアでの話し合いの中で堂々と自分の意見を表明し、よりよい解決方法を求めていた。 ・生徒一人一人を大切にし、問題が起こったときにすぐに対応することができた。	A	・今後、武蔵台小中学校となるにあたり、児童生徒・教職員・保護者・地域が、武蔵台地区の目指す15歳像を、より明確に意識する必要がある。 ・学校評価などを通じて、一人一人の意見が反映されていくようにする。
	積極的な生徒指導の推進	2 学校は、生徒一人一人のよさを認め、伸ばし、いじめや暴力のない学校づくりに積極的に取り組んでいる。	100.0%	89.4%			
基礎学力の定着	授業改善	3 学校は、タブレット端末を活用するなどして、思考を深める授業づくりに努めている。	100.0%	87.1%	・授業改善のために、ICTの活用は不可欠であり、それぞれの教員が授業の中で活用する場面を考えて指導することができた。 ・Google Jamboardなどのソフトを使用し、グループでの話し合いが促進された。	A	・タブレット活用についての研修を深め、職員間、教科間で差が生じないように工夫をする。教師が具体的な活用の仕方を学び、積極的に実践していく。 ・今後も「学力向上通信」などを発行して、学校の学力向上の取組を紹介する。検討してきた学力向上策を見直す。発見的な学び、探求的な学びを取り入れる。
	個に応じた指導と補充学習	4 学校は、具体的な学力向上策を検討し、共通理解をもって指導している。	92.9%	82.3%	・職員研修において、非認知能力を高めるためにどのように取り組んでいけばよいか検討することができた。振り返りカードの取組を継続することができた。		
保護者や地域との連携 (コミュニティ・スクールの視点)	学校の情報発信	5 学校は、学校だより・学年だより・学級だより・保健だより・学校ホームページ等を通して、学校の情報を積極的に発信している。	100.0%	96.5%	・年度当初から積極的に保護者に情報発信を行ってきた。メール配信とホームページの活用によって、さらに充実させることができた。保護者アンケートの結果からも情報発信の成果が見られる。	A	・ICT活用アドバイザーと協力して、学校ホームページをさらに充実させる。 ・義務教育学校開校準備について、保護者・地域に対して積極的に情報発信をしていく。
	保護者・地域との連携	6 学校は、保護者や地域の意見を取り入れながら、コミュニティ・スクールとしての基盤を整備するとともに、義務教育学校の開校に向けた準備を進めている。	92.8%	94.2%	・体育祭や校章デザインについて、児童生徒、保護者、卒業生、地域と幅広く意見を取り入れて進めることができた。		
社会性・人間性の育成	規律ある態度の育成	7 学校は、あいさつ・言葉遣い・きまりを守る等、規律ある態度の育成に努めている。	100.0%	95.3%	・中学生からの気持ちのよい挨拶は、地域の方からも評価されていた。 ・授業の進行を妨むことなく、落ち着いた学習に取り組むことができた。	A	・挨拶の必要性等について改めて指導した上で、自分から挨拶ができるようにする。 ・体験活動を充実させ、なすことによって学ぶ教育を進める。 ・コロナ禍でも行事を工夫して実施する。トラブルも指導のチャンスに捉えていく。行事等を通じて得られるものは大きい。今後も充実させていく。 ・学校行事を通じて、保護者も成長することができる。積極的に参観してもらう体制を整える。 ・生徒会を通じて、校則等について子供たちに主体的に考えさせる機会を設定する。
	学校行事の充実	8 学校は、感動と達成感のある学校行事や教育活動を展開している。	100.0%	90.6%	・体育祭、校内音楽会などの行事も実施することができた。コロナ禍にありながらも工夫して取り組むことができた。保護者や地域の方にも参観していただき、感動を共有することができた。		
	道徳教育の充実	9 学校は、自分や周りの人を大切に、相手の立場に立った言動をする、善悪の判断等、道徳教育の充実を努めている。	100.0%	88.3%	・道徳授業のみならず、授業、行事など教育活動全般を通じて生徒の道徳性を高めるような指導を行うことができた。		
安心安全な教育環境	教育相談体制の充実	10 学校は、生徒や保護者の声に丁寧に耳を傾け、相談しやすい環境づくりに努めている。	92.8%	90.5%	・Google Formsなどを活用して、保護者が学校に対して率直に意見を述べられる機会を設けた。 ・保護者からの学校に対する意見にその都度回答した。それに対してある程度満足していると思われる。 ・校舎が古くなってきているため、修繕を要することが増えてきているが、教育委員会に修繕の依頼をし、生徒の安全を確保した。	A	・保護者からの数値は概ねよいものであったが、同じような項目で生徒からもアンケートを行ったところ、質問項目10番の数値が低かった。生徒は総じて学校生活に満足しているものの、教師に対して「もっと話を聞いてもらいたい」と感じている。静かにして目立たない生徒にも意識的に声をかけるようにしなければならぬ。 ・学期に1回は新型コロナウイルスの感染者が急増する状況が生じた。今後も油断することなく感染対策を徹底していく。
	安心・安全な学校づくりの推進	11 学校は、校舎内外の施設設備などが、安全に使用できるように整備している。(感染防止対策を含む)	100.0%	92.9%	・行事等の際には、検温と手指の消毒、換気などの感染対策を徹底した。		

※達成度「A」ほぼ達成(8割以上) 「B」概ね達成(6割以上) 「C」変化の兆し(4割以上) 「D」不十分(4割未満)

学校運営協議会での評価
実施日 令和5年2月15日
学校運営協議会の委員からの意見・要望・評価等
・全体的に達成度はAであるが、義務教育学校として新たなスタートとなるため、次年度目標は、武蔵台小中学校の特色となるような具体的な目標としてほしい。 ・部活動の選択肢が少なくなっている。少子化と教職員の数が関係している問題かと思うが、子供たちのよさや可能性を引き出す教育活動の工夫改善をお願いしたい。
・全体的に達成度はAである。次年度課題と対策も適切である。 ・コロナ感染拡大の懸念から、学校運営協議会委員に授業公開をすることができなかったため、学力向上の取組について適切に評価することができなかった。
・教師や親などの大人が子供たちと関わる時間が少なくなっているように感じる。こうした中で、コミュニティ・スクール構想が議論されていると思うので、より地域との連携を深める活動を、学校がイニシアティブをとって積極的に進めてほしい。 ・全体的に達成度はAである。次年度課題と対策も適切である。
・アプターコロナでは、マスクを外すことに対する抵抗を感じる。ぜひ子供に寄り添った声かけをお願いしたい。 ・現在、子供が減少し、小中学校の9年間クラスが同じになることが多いと思う。その中で、楽しいことだけではなく、困難なことがあった時に、乗り越えられる友人をたくさんつけてほしいと思っている。そのため、悩みがあった時には、今まで以上に相談しやすい環境になってほしい。 ・全体的に達成度はAである。次年度課題と対策も適切である。